

秋田県沖合域の水温状況 (令和6年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月6～7日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表層	「はなはだ低い」～「平年並み」水温です。(平年との水温差平均:0.0℃)
50 m層	「平年並み」～「かなり高い」水温です。(平年との水温差平均:1.0℃)
100m層	「平年並み」～「かなり高い」水温です。(平年との水温差平均:1.8℃)
200m層	「やや低い」～「はなはだ高い」水温です。(平年との水温差平均:0.6℃)
300m層	「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。(平年との水温差平均:0.2℃)

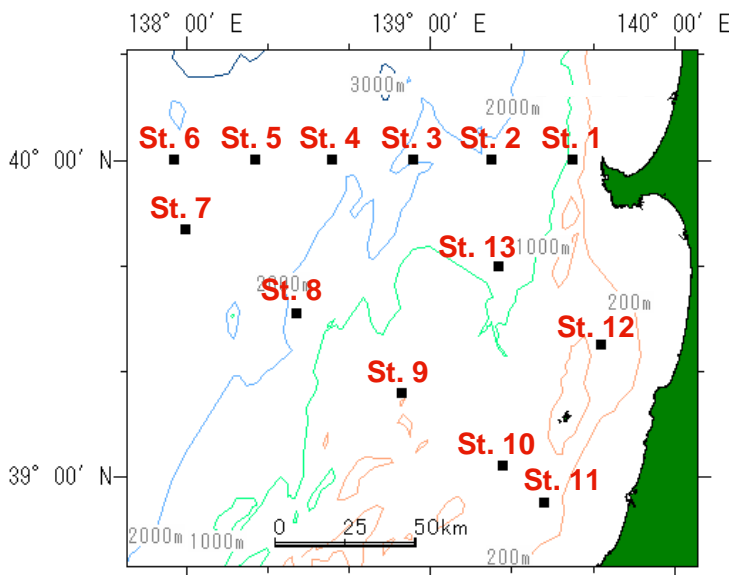


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

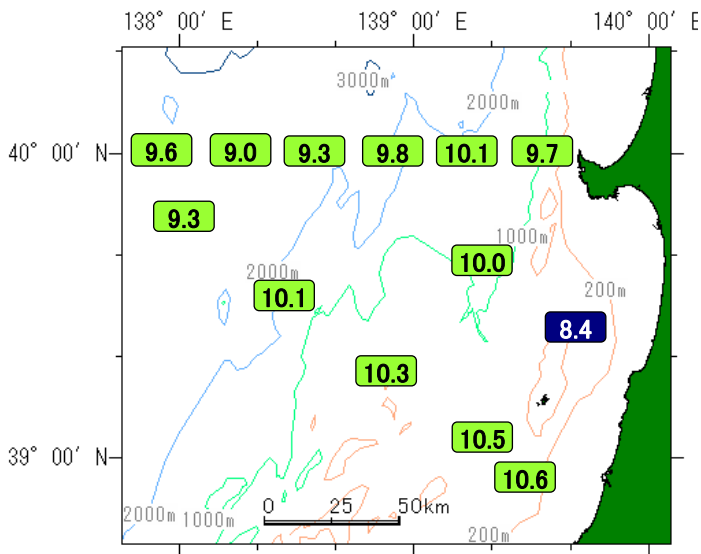
表1 水温の評価区分

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

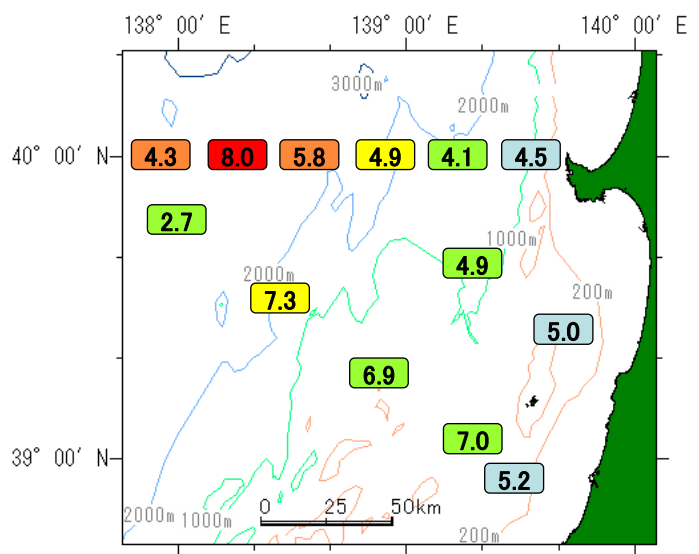
* 偏差 = (観測値 - 平年値) / 平年標準偏差 × 100

平年：1981～2010年の30年間

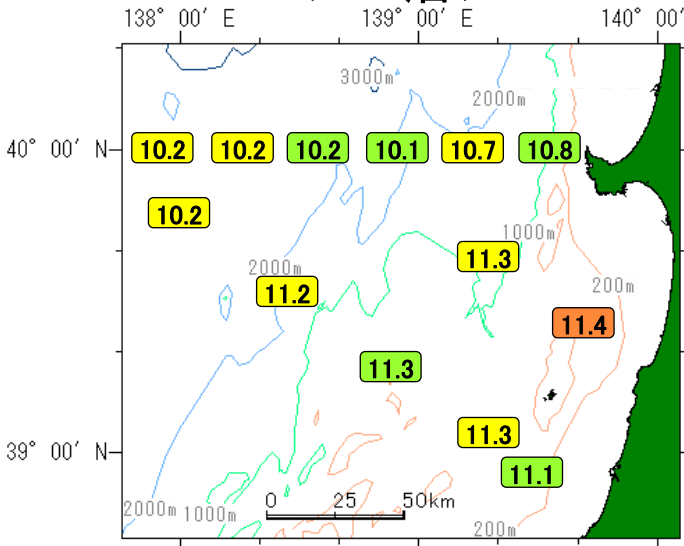
<表層>



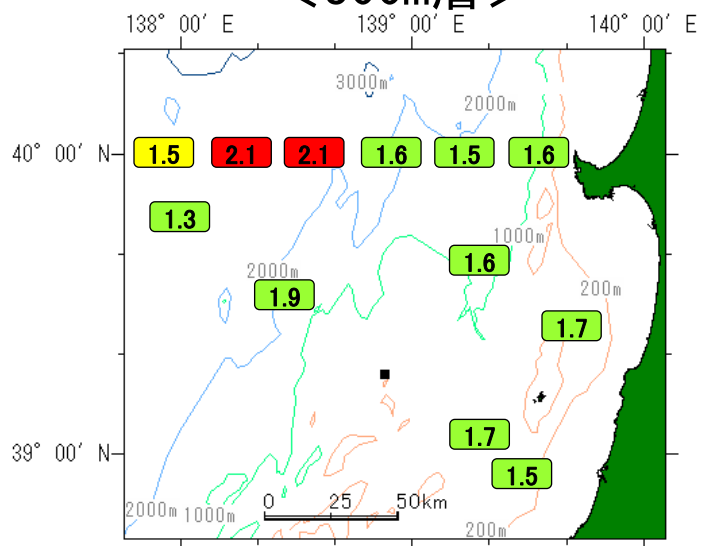
<200m層>



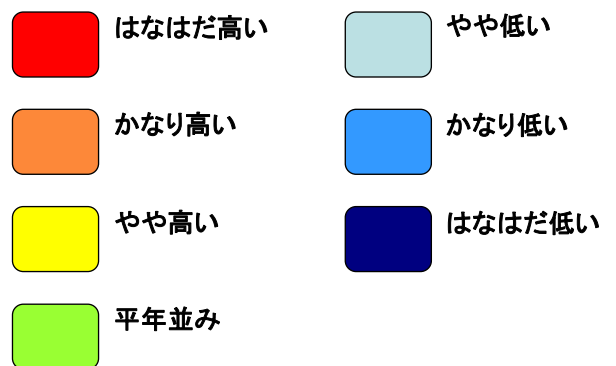
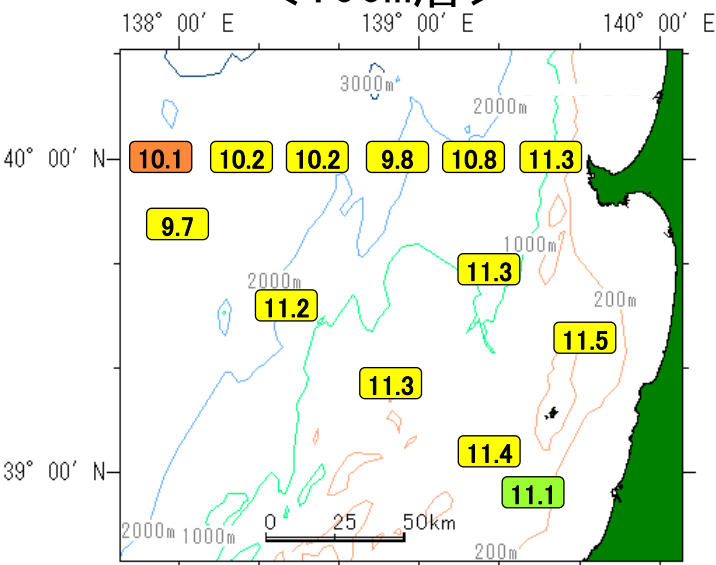
<50m層>



<300m層>



<100m層>



<図2 各層の水溫観測値(°C)と評価>